

令和6年能登半島地震の被災地への支援について

令和6年能登半島地震では、家屋の倒壊や多数の死傷者が出るなど、甚大な被害となっていることから、継続的な支援が必要な状況となっています。被災地への支援情報については、日々内容が変化していることから、最新の情報については、各ホームページで確認をお願いいたします。

石川県(義援金・各種支援)

石川県のホームページ

HP▶石川県 能登半島地震に関する情報 **検索**



ふるさと納税(返礼品なし)

被災した市や町、県では、ふるさと納税制度を活用した災害支援の寄附を受け付けています。申し込みは、ふるさと納税専門サイトなどで確認してください。

浜松市からの支援について

浜松市のホームページ

市HP▶令和6年能登半島地震への支援 **検索**



義援金の受け付け

日本赤十字社による災害義援金の受付(石川県、富山県、新潟県)

振り込みの場合

HP▶日本赤十字社 災害義援金 **検索**

※地域を限定しての寄付を希望する人は、振り込みを利用してください
 ※受領証を希望する人は、可能な限り振り込みでの寄附をお願いします



現金持ち込みの場合

下記の浜松市地区本部で受け付けています

市・区役所、行政センター	所在地	設置場所	電話番号
市役所	中央区元城町103-2	福祉総務課(本館3階)	457-2610
東行政センター	中央区流通元町20-3	社会福祉課(庁舎2階)	424-0176
西行政センター	中央区雄踏一丁目31-1	社会福祉課(庁舎1階)	597-1118
南行政センター	中央区江之島町600-1	社会福祉課(庁舎2階)	425-1485
浜名区役所	浜名区貴布祢3000	社会福祉課(なゆた・浜北1階)	585-1121
北行政センター	浜名区細江町気賀305	社会福祉課(庁舎3階)	523-3111
天竜区役所	天竜区二俣町二俣481	社会福祉課(本館2階)	922-0018

※受付時間 8:30 ~ 17:15(土・日曜日、祝日は受け付けを行っていません)

※掲載した情報は1月15日時点の内容です。支援内容などについては、今後変更となる場合があります。

カーボンニュートラルへの挑戦

第10回

省エネ視点のヒートショック対策

~断熱性能の高い家づくりのススメ~

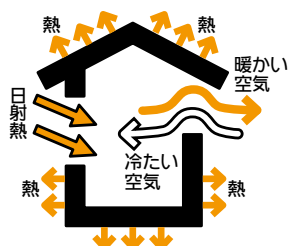
寒い時期に気を付けたいのがヒートショックです。ヒートショックとは、急激な温度変化によって心臓や血管に大きな負担がかかる健康被害で、冬の寒いトイレや浴室では脳卒中や心筋梗塞を起こす危険があります。ヒートショック対策を省エネやCO₂削減の観

点から考えたとき、重要なのが建物全体の暖かさを保つための「建物の断熱性能」です。家を建てるときやリフォームするときなどは断熱に注目してください。※ヒートショック対策は13ページの「健康の秘訣」でも紹介しています。

ヒートショック対策にもなる！ 省エネで快適な「断熱性能の高い家」

冬の暖房時は、下の図のように、暖かい空気や熱が外へ逃げていきます。家全体を高性能な断熱工法で包み、暖かい空気や熱を外へ逃がさないようにすることで、暖房の効率が良くなり、部屋内や部屋間の温度差が小さくなるため、ヒートショック対策になります。また、風呂やトイレも暖かくなり、窓が結露しない快適な家が実現します。

住宅の内外での熱の移動(冬)



資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」をもとに作成

これから家を建てる人、リフォームを考えている人は注目！ 断熱窓を使って窓の断熱性能を高めよう

暖房時、室外に逃げ出す熱のおよそ6割は、窓などの開口部から出ていきます^{※1}。まずは窓の断熱性能を高めることをおすすめします！ここでは窓の断熱性能を高める方法を2つ紹介します。

①ガラスとサッシ(窓枠)の組み合わせを見直そう

サッシを木やプラスチック素材の断熱サッシにして複層ガラス^{※2}を使うと効果的です。ガラスを複層ガラスにするだけでも大きな効果があります。

②二重窓も有効

既存の窓の内側に新しく内窓を設置して二重窓にすることで、複層ガラスの窓と同程度の断熱性能が確保できます。比較的手軽にできる方法として、マンションなどのリフォームに有効です。

- ※1 資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」より
- ※2 2枚以上のガラスを組み合わせで作られた窓ガラスのこと



断熱窓への改修工事には国が補助金を用意しています。



HP▶先進的窓リノベ2024 **検索**